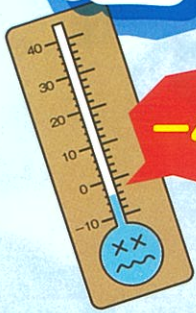


寒さから水道を守るう



-4°C

- ❄️ 最低気温が-4°C以下になるとき
- ❄️ 旅行・帰省などで留守にするととき
- ❄️ 一日中気温が氷点下になるととき
- ❄️ 真冬が続くととき

こんなときは
要注意!



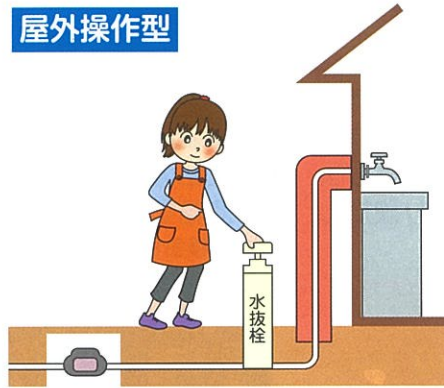
水抜きをしよう!

本格的な寒さが来る前に、一度水抜き栓を操作してみましょう。水抜き栓の操作が不十分だったり、水抜き栓自体が劣化していると、凍結や漏水の原因となります。水抜き栓には屋内操作型、屋外操作型、電動型があります。

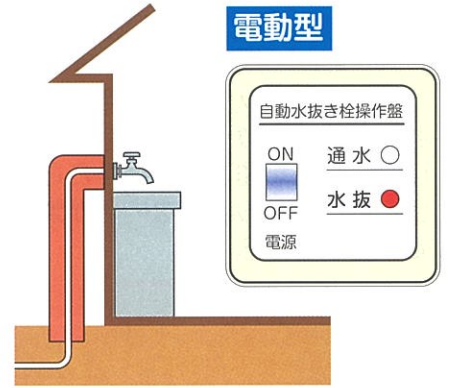
屋内操作型



屋外操作型



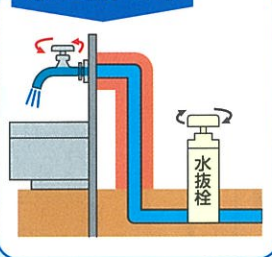
電動型



水抜きの手順

- ① 蛇口をいっぱいに出す。
- ② 水抜き栓のハンドルをしっかり閉める。(電動型の場合、水抜きボタンを押す。)
- ③ 蛇口を開いたままにしておく。

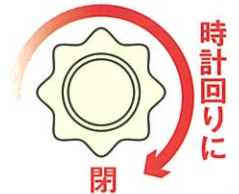
水を抜く時



水を抜いた後

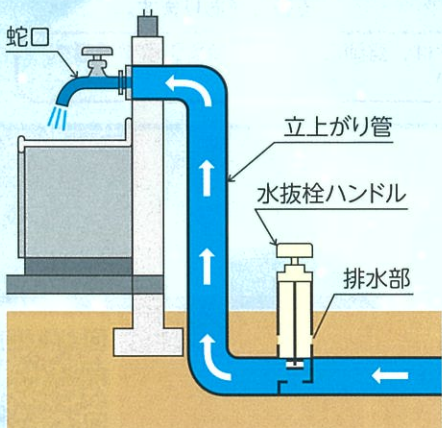


ハンドル式水抜き栓の閉め方



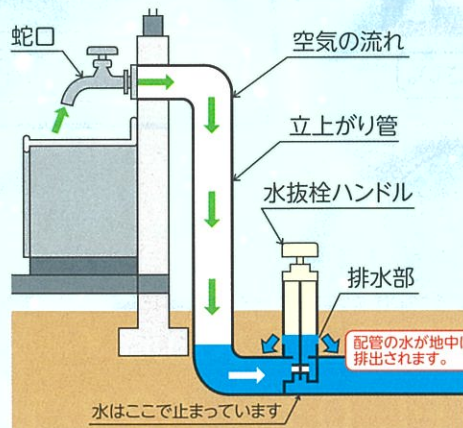
水抜き栓のしくみ

通水の状態 (水抜き栓全開)



通水時は、水抜き栓のハンドルを左(反時計回り)に止まるまで回して下さい。

水抜きの状態 (水抜き栓全閉)



水抜き操作をすると、蛇口から立ち上がり管に空気が入り、水が抜けます。管内の水は、地中に排出されます。

半開きの状態



水抜き栓が半開きの状態では、蛇口を通常通り使用できますが、地下に水が流れたままで漏水した状態になります。



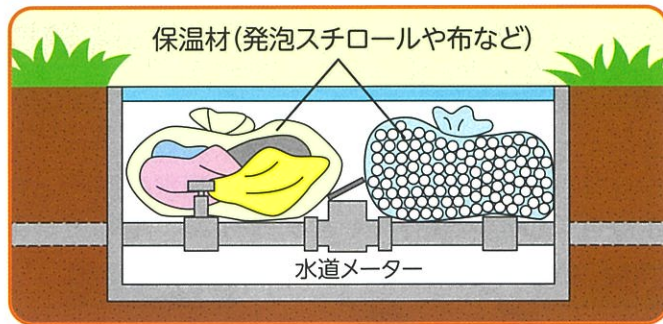
湯抜栓も忘れずに操作しよう!

水抜き操作だけでは、給湯器及びその先のお湯配管内にお湯が残ってしまいます。お湯も冷めれば凍結しますので、湯抜栓を操作してお湯抜きをしましょう。(貯湯式給湯器を除く。)

お湯抜きの手順は、給湯装置によって異なりますので、事前に確認しておきましょう。



メーターボックスの保温



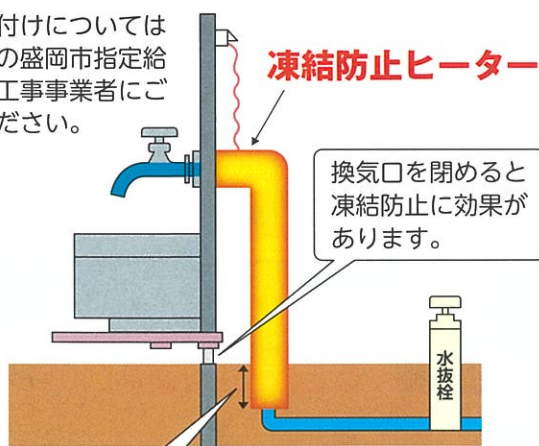
メーターボックスの蓋を開けたときに、上のような発泡スチロール製の内蓋があるか確認し、その蓋が閉まっていることを確認しましょう。もし、このような内蓋が無かったり破損していたりしたら...

不要になった布や発泡スチロール片などをビニール袋に詰め、水で濡れないように口をしっかりと閉めたものを保温材として、メーターボックスに入れ、凍結を予防しましょう。
※検針時に容易に取り除けるよう御協力をお願いします。



凍結防止ヒーターで予防する方法

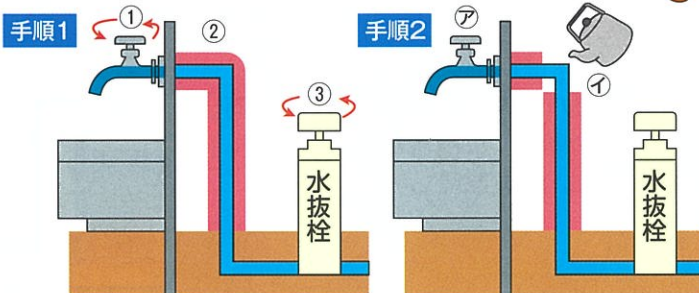
※取り付けについては最寄りの盛岡市指定給水装置工事業者にご相談ください。



地下20~30cmまでヒーターを巻いてください。



もし、凍ってしまったら...



- ① 蛇口をいっぱいにする。
- ② 防寒用発泡スチロールを外す。
- ③ 水抜栓のハンドルをいっぱいにする。

70℃~80℃のお湯を②③の順番で糸を垂らすようにゆっくり温めてください。
※熱湯をかけると管が破裂する恐れがあります。

自分で解凍できないときは、盛岡市指定給水装置工事業者へ解凍を依頼してください。

上下水道局キャラクター



水抜き操作を忘れないで!

盛岡市上下水道局 給排水課サービス係

TEL.019-623-1411 (代表)

TEL.019-623-1423 (サービス係直通)

<https://www.morioka-water.jp/>

